

佐賀市 地域おこし協力隊

深呼吸したくなる場所で、暮らしと仕事を繋げて生きていく

地域おこし協力隊募集！ ～お山の地域づくり支援員～

佐賀市の中山間地域では、人口減少や高齢化により地域運営が難しくなっています。北山地区では、課題解決や生活支援を担う「北山カンパニー」の設立が進んでおり、佐賀市はその取組を他地域へ広げるため、今回その一員として活動する人を募集します。

◎ 北山カンパニーの概要

佐賀市富士町北山地区は、佐賀県最北部に位置する中山間地域で、12の集落に約430世帯、約1,050人が暮らしています。豊かな自然、受け継がれてきた里山の暮らし、そして人と人とのつながりが今も残る地域です。一方で、過疎化や高齢化、農業の衰退、農地の荒廃、生活基盤の弱まりなど、向き合うべき課題もあります。こうした現状を踏まえ、令和7年6月に「北山カンパニー設立準備委員会」を発足しました。集落の枠を越え、地域が一体となって支え合いながら、持続可能で明るい「北山の未来」をつくることを目指しています。

北山カンパニーは、地域の現実に丁寧に向き合いながら、北山の魅力を活かし、次の世代へとつながる新しい地域づくりを進めていく組織です。

◎ お山の未来を守るために活動をする

【業務内容】

北山地区では、令和8年度から国の補助制度を活用し、佐賀県初となる農村RMO事業に取り組む「北山カンパニー」を立ち上げます。地域おこし協力隊には、その事務局の一員として、地域のみなさんと一緒に組織の立ち上げから事業の企画・運営に関わっていただきます。あわせて、地域の人や集落、関係機関をつなぎ、新しい視点を活かしながら活動を形にしていく、地域コーディネーターとしての役割も期待しています。地域の中を整え、必要なことを整理し、人と人をつなぎながら、北山カンパニーの活動を前に進めていくことが大切な役割です。また、3年間は地域の中で経験と実績を積み重ね、自分の役割を少しずつ築いていく期間でもあります。

任期後には、地域の中で信頼され、北山カンパニーとしての活動を自分の仕事として従事していけるところまで目指していただきます。

主な業務内容は、次のとおりです。

- ・ 北山カンパニーの立ち上げや運営に関すること
- ・ 世話人会や設立準備委員会などの準備・運営
- ・ 3年間の事業が円滑に進むよう、準備や調整を行うこと
- ・ 地域の課題に向き合い、解決に向けた取組を考え、進めること
- ・ 地域の魅力や取組を発信し、新しい視点を活かした提案につなげること



【3年間の業務の流れ】

①農村RMO事業の計画(3年間)の実施

「農地保全」、「生活支援」、「地域資源活用」、「森林」の各部門の事業をサポート

- 1年目・準備(調査や情報収集を行い事業の実証方法等を検討する)
- 2年目・実証(事業化に向けた実証実験を行う)
- 3年目・定着(更に事業を検討・実証し定着させる)



【求める人物像】

北山カンパニーが求めているのは、最初から「即戦力」の人材ではありません。

地域の中に入り、人と関わり、信頼を積み重ねながら、少しずつ役割を担い、やがて北山の未来を共に支える存在へと成長していける人を求めています。地域のことが最初から分からないのは当然です。大切なのは、北山という地域にしっかり向き合う覚悟と、本気で関わろうとする姿勢です。

人の話に耳を傾け、地域の声を受け止め、自分にできることを考えながら、一歩ずつ行動に移していけること。その積み重ねが、地域からの信頼につながり、自分自身の役割や居場所を築いていくことにつながります。北山カンパニーの取組は、一人で完結する仕事ではありません。

地域のみなさんと関わりながら、人と人、集落と集落、想いと行動をつないでいくことが大切になります。

そのため、特別な経験や資格があること以上に、

- ・相手を尊重しながら関係を築けること、
- ・前向きに学び、柔軟に動けること、
- ・地域の未来を一緒につくっていかうとする気持ちを持ち続ける必要があります。

課題があるからこそ、北山には関わられる場面があり、自分の力を活かせる出番があります。

完成された環境に入るのではなく、地域の中で信頼を重ねながら、自らの役割を育てていく。

その過程を前向きに受け止め、地域と共に歩んでいける人と出会いたいと考えています。

